

透析患者と非透析患者における頸椎 X-ray アライメント を含んだ頸椎椎弓形成術の比較検討

研究協力のお願い

当院では、透析患者と非透析患者における頸椎症性脊髄症に対する頸椎椎弓形成術の効果や合併症に関する研究を行っております。この研究は、当院整形外科で頸椎椎弓形成術を施行した透析患者と非透析患者の効果や合併症を調査する研究です。調査の意義や目的、研究方法は以下の通りです。「オプトアウト」という手法により、患者さん皆様から直接の御同意はいただかず、このお知らせにより御同意を頂いたものとして扱われます。患者さん皆様方には研究内容をご理解いただき、本研究へご協力頂きますようお願い申し上げます。

もしこの研究への参加をご希望されない場合、また途中で研究参加を取りやめる場合、その他この研究に関する問い合わせは、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

1. 研究の概要

研究対象者：当院整形外科で頸椎椎弓形成手術を受けた方

2. 研究の意義及び目的

一般的に透析患者さんは高齢化や脊椎へのアミロイド沈着等の要因により、頸椎症性脊髄症や破壊性脊椎関節症を代表とする頸椎疾患の合併を認める事が多く、進行すると上肢巧緻運動障害や四肢不全麻痺、歩行障害が増悪し、転倒時に頸髄損傷を引き起こすリスクも有するため、頸椎椎弓形成術等の手術加療が必要となります。しかしながら透析患者さんは出血傾向や易感染性など合併症も多いため、透析患者さんに対しても安全に頸椎手術が施行出来るかどうか評価する事を目的としました。

3. 研究方法

手術を受けた患者さんに対し、特別な侵襲や介入がない中で 6 か月間観察し、手術の効果や合併症などを評価します。

4. 個人情報について

この研究に当たり、個人が特定できるような情報は使用されず、また研究発表時にも個人情報は使用されません。

5. 問い合わせ先

医療法人社団明生会理事長 田畠 祐輔

連絡先：043-224-8201 (医療法人社団明生会 三橋明生病院)